

前橋監督署からのお知らせ

第4号 2011.7.13 発行



前橋労働基準監督署 前橋市大手町 1-1-3 Tel 027-232-3600 Fax 027-232-3530

特集1

熱中症を防ごう!



平成22年の死亡者 1,718人(全国・全数) → 47人(全国・労災) → 2人(群馬局=前橋署)

明暗を分けた

工事現場で熱中症(休業3日)



拡大

↑レスキュー隊により、高所作業車で救出

↑昨年9月3日午前9時頃、ビルの建設現場で作業員が熱中症になり、警察や消防のレスキュー隊まで出動し、作業員を搬送。

一時、意識不明であったが、3日で無事退院。(高崎署窓から撮影)

熱中症災害発生現場



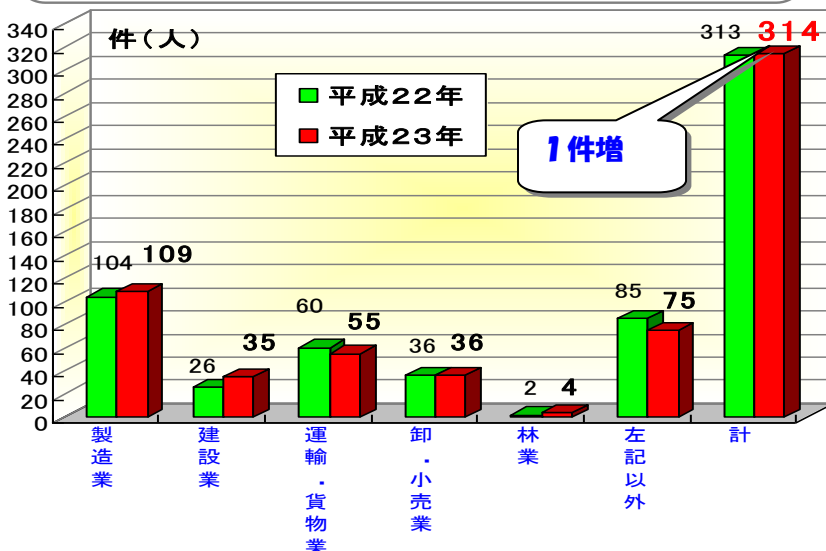
トウモロコシ畑で熱中症(死亡)

↑昨年8月4日、吉岡町のトウモロコシ畑で農薬散布をしていた57歳の男性作業員が熱中症で死亡した現場。

朝5時頃から作業を始め、午後7時頃になっても戻らなかったため、畑を探したところ死亡していたもの。

●重装備に加え、飲料水持参せず。

平成23年(6月末現在)分 前橋署管内 労働災害発生状況(累計)



● 県内全般では減少傾向にあり、当署でも増加傾向が鈍り、平成22年同期と比べ1件増の314件(人)に。

● 製造業、建設業で増加。

● 死亡災害は4件(人)であり、プラス1件に。

● 死亡災害4件の内訳は、製造業2件、畜産業・林業各1件。

※注…休業4日以上(通勤災害分を除く)で、平成23年6月30日までに、当署に提出された労働者死傷病報告を集計(累計)。

特集2

節電の夏、今年も



熱中症にご用心！

平成22年は、全国で47人が仕事中に死亡



- 早目の水分・塩分補給を！
- 体調不良者や持病のある人は特に注意を！

年(平成)	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
死亡者数	1	11	7	4	1	20	24	9	15	10	20	18

●6年7月6日、高崎の工事現場で25歳の作業員死亡(35.1度)

●7年7月25日、太田で57歳の男性作業員死亡
●7年7月31日、藤岡でも55歳の女性作業員死亡

年(平成)	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
死亡者数	24	22	17	17	23	17	18	17	8	47

●10年7月28日、吾妻で41歳の男性運転手死亡

平成22年の労災死亡者(47人)の発生状況

— 7、8月に多発し、時間は午後4時台が最多 —

- ① 業種別では**建設業**の割合が高く、47人中17人(36.2%)を占め、製造業9人、農業6人でした。
- ② **7月と8月**に集中し、7月25人、8月19人、6月2人、9月1人でした。
- ③ **午後4時台が最多**で11人、3時台9人、2時台5人と続き、午後6時以降、午前9時以前でも発生しました。
- ④ **作業開始日から1週間以内**に4割以上(42.6%、20人)が死亡しました。

- 22年8月4日、吉岡町で農薬散布作業をしていた57歳の男性作業員が死亡(前掲)。
- 22年8月31日、伊勢崎市で溶接作業中に体調を崩し、帰宅途中の46歳の男性作業員が工場を出て、自転車で400m走ったところで倒れ、死亡。

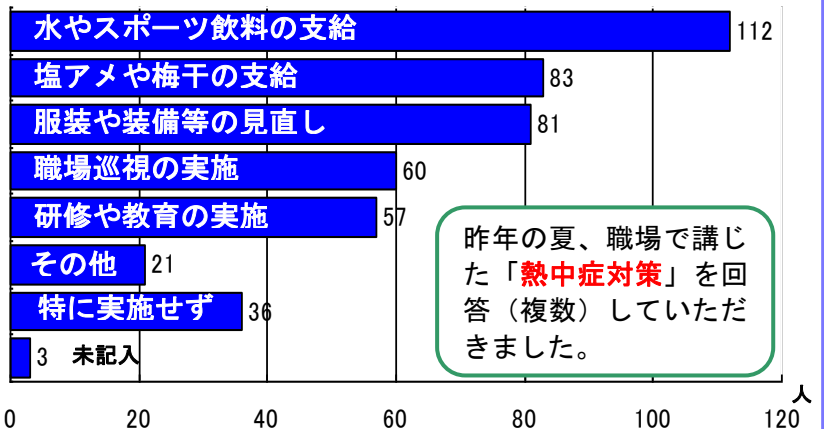
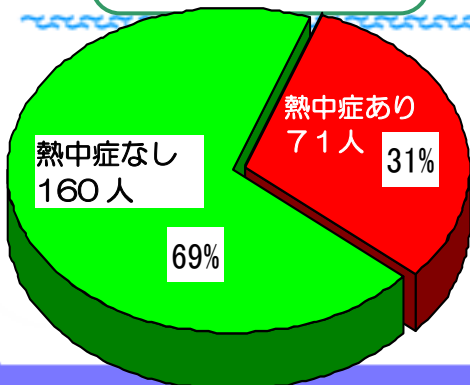
特集3

安全週間説明会で231人から、昨年の熱中症についてお聞きしました。

231人中、約3割の人が「熱中症の事例があった」と回答。

多くの事業場(52.4%)で、複数の対策を実施。「特に実施せず」は約15%に留まった。

昨年の夏、職場や家庭など、身近なところで熱中症の事例があったかお聞きしました。



昨年の夏、職場で講じた「熱中症対策」を回答(複数)していただきました。